

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム風

目標達成計画

作成日: 平成31年2月12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	認知症ケアに必要な専門知識の習得及び研修の受講機会が不足している。	業務に従事する職員全員が基礎知識を習得し、介護の現場において実践を図る。	認知症介護実践者研修の受講(年1~2名)及び認知症介護基礎研修の受講。	12ヶ月
2	11	法人理念の「相互尊敬」「相互信頼」がスタッフ間においてまだまだ不十分であり、意見の対立がある。	スタッフ1人1人が、それぞれの役割、専門性、持ち味を活かしながら、お互いを認め、尊重し、力を合わせてサービスを提供していく。	ひとつの目標を設定し、それを実現するために個々に意見を発表する場を設ける。それぞれの意見をまとめ目標を達成するために事業所内に掲示し実行する。	6ヶ月
3	12	職員の高齢化、若い人材の確保が非常に難しくなっている。	法人として魅力ある職場環境の提供及びキャリア形成支援の構築による人材確保及び定着を図る。	資格取得支援制度(介護福祉士等)の構築及び資格取得後の処遇改善による給与アップ。定年の引き上げ。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。